

結婚してもしなくても、女性が自立した個人として、 自分らしく生きていくために—



「女性の暮らし」の3つのテーマ「子育て女性」「非正規単身女性」「高齢女性」について調査した結果、働き方や介護や子育てを福祉的視点からだけでなくジェンダー視点からも見直すことが重要であることも再確認されました。

国は女性活躍を高らかにうたってはいますが、女性たちが本当に望んでいる暮らしや生き方に沿う方向になっているとはとうてい思えません。

インタビューからは、仕事も家族も、そして自分も大事にできる生活の実現こそ、めざすべき方向であることがはっきりと訴えられています。女性だけでなく男性も同じように生きられることが何より「ジェンダー平等」の到達点であり、誰もが幸せになれる社会です。

そのために、東京・生活者ネットワークは、次の政策を提案します。

●男性稼ぎ主型（標準世帯）生活保障システムから両立支援型へ ●税や社会保障は「世帯単位から個人単位」へ

提案 1

子育て中の女性におけるジェンダー平等

- 長時間労働の見直しを重点とした働き方改革
- 男性の育児休業取得の義務化（パパ・クオータ制）
- 各自治体の育休取得日数も加味した男性の育休取得率の公表（男女平等見える化）



提案 2

非正規単身女性におけるジェンダー平等

- 同一価値労働同一賃金の実現による男女賃金格差の是正
- 単身女性向けの就労支援制度をつくり非正規雇用から正規雇用への促進を図る
- アパートやマンションの空き室を活用した家賃補助で公営住宅の不足を補う



提案 3

高齢女性におけるジェンダー平等

- 男女を問わず、孤独や孤立を解消するための地域での役割と居場所をつくる
- 8050問題をなくし高齢の親が安心して暮らせる東京をつくる
- 自分らしい埋葬の仕方を選択できるよう、樹木葬ができる公園や市営・区営墓地をつくる

